

今日の畜産科学科

1年農業と環境(飼育)



1年生の農業と環境では、ニワトリ(採卵鶏※1)の飼育管理の授業を行っています。

明日(5月12日)ヒナが入雛する予定となっています。

ヒナを受け入れるのに、しっかりとした事前準備が必要です。

今回は入雛の事前準備について紹介します。

※1, 卵を生産することを目的にしたニワトリ

にゆうすう

入雛の準備

ヒナの飼育管理は育すう舎で行うます。
育すう舎や動物がいる建物には、
靴を消毒するための消毒槽があるので、
消毒槽に足をつけてからはいってください。



こちらがヒナを飼育管理する部屋です。
足元には、敷料(稲わら)を敷き詰めます。
ここで、370羽を管理していきます。

天井からぶら下がった、UFOのようなものが、給温器具の**ガスブルーダー**です。初期のヒナは大変弱く、飼育適温は約32℃もあるため、温度管理は最重要になります。



ガスブルーダーは、火を使って、温める器具ですので、触れたりするとヤケドをしたり、落としてしまうと火事になってしまうので、注意して扱う必要があります。
すぐに部屋は暖かくなならないので、入雛前日から点火しておきます。

これは、給水器です。
水もすぐに温まらないので、前日から
部屋に置いて暖めておきます。



餌を入れるトレーです。こちらも前日から入れておきます。
トレーはアルミ製ですので、ガスグレーダーの下に配置してしまうと、高温になってヒナが餌を食べることができなくなってしまいます。

毎回、部屋の温度を確認します。



ここで問題です。

この温度計は、部屋の温度を測るために設置していますが、あえて低い位置に設置している理由とは为什么呢？

答え！

ヒナのいる高さの温度を計測するため

※人間の高さの温度と、ヒナのいる高さの温度は違います。

明日はかわいいヒナが
入雛します！

お楽しみに～

